

全国学力・学習状況調査 南相馬市調査結果（令和7年度）

全国・福島県・市内小学6年生の平均正答率(%)

国語・算数・理科（平均正答数/設問数）

	国 語	算 数	理 科
全 国	6 6 . 8	5 8 . 0	5 7 . 1
福島県	6 5	5 5	5 6
南相馬市	6 1	5 6	5 2

南相馬市立鹿島小学校 全国学力・学習状況調査分析

- 1 実 施 日 令和7年 4月17日（木）本体調査
- 2 調査対象 第6学年児童（73名）
- 3 調査内容 （1）教科に関する調査（国語、算数・理科）
 （2）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査
- 4 調査結果
 - （1）教科に関する調査
 - ・国語科では、「読むこと」や理由を書く記述式の設問の正答率が、県や全国に比べると伸び悩み、特に、思考力・判断力・表現力等に関する内容に課題が見られる。
 - ・算数科では、学年の平均正答率が県平均とほぼ同じで、昨年度実施した1月の市学力テストより正答率が上昇した。特に「図形」や「分数」の設問では全国平均を上回った。
 - ・理科では、記述式の設問で伸び悩んだものの、「地球」の領域での正答率が高かった。
 - （2）児童・生徒質問調査
 - ・国語科・算数科共に、「好き」と回答した児童が全国平均より高かった。
 - ・ICT機器の活用によって「友達と考えを共有したり比べたりするしやすい」と感じている児童が多く、ICT機器が授業での学び合いに生かされていると考えられる。
 - ・ICT機器によるプレゼンテーションの作成の経験が少ない。
- 5 学力向上の取り組み

○ 今回の調査結果では思考力・判断力・表現力等に関する課題が見られました。今後本校では、下記の点について重点的に取り組んでいきます。

 - ・国語や算数の授業では、言葉や数・式を使って自分の考えを表し、友達との対話を通して問題解決を図り、思考力・表現力が向上する授業づくりをする。
 - ・授業では「まとめ」と「振り返り」の時間を確保し、ICTを効果的に活用しながら学習内容の定着を図る。また、「かしまっ子確認テスト」や「かしまっ子タイム」を通して、基礎・基本の定着を図る。
 - ・算数専科教員や学習支援員と連携してコース別や少人数指導を行い、児童個々にきめ細やかな支援・指導を行う。
 - ・探究学習や生活科の学習の中で、自分の考えをまとめ、相手に伝える機会を多く設定し、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- 6 保護者（や地域）の皆様へ

○ 児童の家庭学習及び読書時間の確保についてご家庭でのご協力をお願いいたします。

 - ・家庭学習について…家庭学習の時間の確保と習慣化に向けた見守り及び称賛や励まし。
 - ・ICT機器との上手な付き合い方…使用時間も含めた家庭でのルール確立。
 - ・探究活動における地域とのつながり…さまざまな人とふれあう中での生活体験の充実。